

クライミングのまちかぞ

クライミングのまちかぞへ、 もう一歩先の進展について

答弁…埼玉県で作成している東京オリンピックのキャンピング地のパンフレットに加須市が掲載されPRされておりますが、市としても情報収集を含め、きちんと対応し、ともに喜ぶ結果になればと考えております。

酒巻 酒巻 議員

東京オリンピックに向けて、すでに埼玉県内の市町において、いろいろな種目のキャンピング地として誘致を始めたという話が入ってきております。クライミングが競技種目に認定された場合、「クライミングのまちかぞ」をさらに発信するため、東京オリンピックに向け、リニューアルした加須市の素晴らしい施設を競技場又はキャンピング地として、誘致することについて、考えをお伺いします。

市長 スポーツクライミングについては、東京オリンピックで終わりでなく、これをきっかけに、子どもから成人の方まで幅広い年齢層で、競技に慣れ親しんでいただけるような機運を市民の

間に広げていくことで、健康寿命埼玉一、これを日本一にする一つの方策であると考えております。

東京オリンピックへの対応については、ワールドカップ、ジャパンカップなどいろいろな大会を通じて、市民総ぐるみでアピールしてきており、関係者の方に一定の評価をいただいているところですが、しかし、オリンピックとなる一定の条件があると聞いています。諦めることなく立候補していきたい、少なくともキャンピング地にもPRしていただいています。今後、情報収集を含め、きちんと対応し、ともに喜ぶ結果になればと考えております。

地域経済対策

地域経済の持続的発展 についての見解は

答弁…農業・工業・商業とも高齢化・後継者不足が課題ですが、これまでの取組のほか、うまく全体として世代交代ができるよう、施策の展開をしていく必要があると考えております。

竹内 竹内 議員

市内産業の活性化、後継者の育成、地域資源の活用やイベントにより、市内外から観光入込客数の増加を図り、また、農業、商業、工業の体力の強化、後継者の育成や資本に努め、魅力ある加須市の構築に市民と行政が一体となって取り組むことが重要であると思えます。そこで、市内の農業・工業・商業の体力を強化させるため、後継者の育成と支援についての考えをお伺いします。

経済部長 市内産業はいずれも高齢化や後継者不足が課題となっております。農業において、加須市では平成27年度より、市内で農業を志す方を対象に「加須の農業担い手塾」を開講し、新規就農

機会の拡充に努めております。昨年度は16名が受講し修了されました。工業では、国の認定を受け、市内での創業希望者に対し、今年7月より「創業支援相談窓口」を市及び商工会に開設いたします。また商業では、若手店主を店主催のトップリーダー育成講座に推薦したほか、視察研修等を実施しております。

市長 農業も商工業も個々の事情がありますので継続が難しい場合もあると存じます。その一方、新規に就農・起業を希望する方も増えておりますので、うまく全体として世代交代ができるよう、今後とも商工会等と連携をしながら、施策を展開していく必要があると考えております。

軽度認知症対策

認知症予防対策について

答弁…「埼玉一の健康寿命のまち」の実現に向け、認知症予防教室事業や加須市独自の認知症予防体操、早期受診につなげるための認知症簡易チェックを開始するなど、様々な認知症予防を推進しています。

池田 池田 議員

認知症は誰もが発症する可能性がある身近な病気です。認知症は、前段階の軽度認知障害の段階で認知機能低下を早期発見し、予防対策を行うことで症状の進行を阻止することが大切です。そこで、本市の現在の認知症患者数と予防のための対策、さらに提案として、兆候を早期に発見するために有効な、血液検査を65歳以上を対象とした健診項目に追加してはどうでしょうか。血液検査により、はっきりした数字が出ることで、本人はもちろん家族や市も助かると考えます。導入についての考えをお伺いします。

福祉部長 長寿化の進行に伴い、本市におきましても認知症高齢者の数は今後増加し、その対策

については重要性が高いものと認識しております。平成28年3月末における本市の要介護認定者4,205人のうち、認知症高齢者は2,645人であり、高齢者人口2万9,539人に対し、9%を占めております。予防対策として、認知症予防教室、ふれあいサロン事業などがございます。また、今年度から

加須市独自の体操、あたまの体操を制作し、市民が覚えやすいよう動画を作成して市のホームページで公開しております。ご提案の血液検査につきましては、医療保険が適用されないこと、検査費用が一件約2万円と高額であることから、現時点では市が実施する健康診断への導入や補助制度は考えておりません。